

地域協議会先進地視察研修 行修案

追加資料 2

H30.11.29 第9回鹿島区地域協議会

行程 埼玉県川越市・千葉県流山市コース（まちづくり、定住・交流人口の増）

【1日目：3月18日（月）】

8:00 発	8:15	(途中3回程度休憩)	12:45
鹿島区生涯学習センター	南相馬 I.C.	常磐道・圏央道	川島 I.C.
(川越市内にて昼食 60分)	14:00 (研修)	15:30 16:40	17:00 着
国道	川越蔵の会 本町の長屋	川越市内散策	川越市内ホテル

【2日目：3月19日（火）】

8:30 発	9:10		
ホテル	国道16号17号	与野 I.C.	首都高速埼玉大宮線・東京外環自動車道・常磐自動車道
9:50	10:05 10:20	11:50 発 (途中昼食)	
流山 I.C.	流山市役所	(研修)	流山市役所 県道5号
13:20	(途中3回程度休憩)	16:45	17:00 着 (解散)
流山 I.C.	常磐道	南相馬 I.C.	鹿島区生涯学習センター

【研修内容】1日目：埼玉県川越市 川越蔵の会本町の長屋（まちづくり活性化・交流人口の増加について）
2日目：千葉県流山市 流山市役所（シティセールスでの定住・交流人口の増加について）

定住人口が増加している市 流山市の特長

各年4月1日現在の人口（単位：千人、千人以下四捨五入）

	H15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
人口	151	151	151	152	154	156	158	161	164	165	168	170	174	178	182	187
うち 生産 年齢	108	107	106	106	106	106	105	106	108	107	107	107	108	109	111	114

※ 生産年齢：15歳～64歳

※ H29 市独自アンケートで、これからも住み続けたい市民は81%、転入者のうち希望して転入してきた市民63%

※ シティセールスのため、平成16年にマーケティング課を設置(自治体初)

行政主導ではあるものの、何が住民にとって魅力なのかを発見する術、また実現していくための過程を学ぶことが出来るのではないかな

《流山市の特長》

①都心部等へのアクセスの向上

電車で都心部へ行く場合、これまでは千葉県を大きく迂回していかなければならなかった（JR 武蔵野線または流鉄流山線から JR 常磐線へ乗り換え、それぞれ50分台かかる）が、平成17年につくばエクスプレスが開業し、秋葉原まで20分台で行くことが出来るようになった。

また車での移動も、平成27年に常磐自動車道に接続する流山有料道路が無料開放された。

②市長主導のターゲットマーケティング

平成22年から「母になるなら、流山市。」と題し、共働き世代の増加により税収の増加を見込め、またそこに子供がいれば将来的に人口が増える要素を含んでいることに焦点を当て、保育園への送迎システムを駅前からも送迎できるようにし、利便性を高めた。

③イベントの開催（イメージアップ）

時期によって様々なイベントを開催しているが、夜のカフェ等、大人も楽しめるイベントを行っている。なお、住環境整備関連の条例を施行し、駅周辺にはパチンコ屋等娯楽施設が建てられないことや、ビルへの看板・広告を付けられないようにし、イメージアップを図っている。

④地元愛の形成

自分が住む街に愛着があれば、そこを良くしていこうという思いが現れ、逆にどうしても良いと思えば荒んでいく。荒んでいくことにより人口が減り、犯罪も起きやすくなり、そのイメージダウンよりさらに人口が減るという悪循環に陥る。元々流山市は江戸時代に白みりんで栄えた地域で、旧街道沿いに古い商家や料亭が残っており、これらを巡る散歩コースや商家をリノベーションするなど、様々な取り組みをしている。